

# 美術学部

美術学科准教授 栗田 秀法

## 1. 研究活動

a 演奏会・展覧会・競技会等の名称・著書・論文・作品等の名称（項目ごとに記入する）	b 発表または発行の年月日	c 演奏会・展覧会の会場・主催等または論文等の発行所・発表雑誌等の名称	d 発表・展示・作品等の内容等・論文概要等（共著の場合のみ編者・著者名を記入）
「ニコラ・ブッサン作《キリストと姦淫の女》(1653年)についての覚書き」	2011. 3	『名古屋芸術大学研究紀要』32、123～142頁	
「色彩の歎びの追求—三岸節子の初期の画業とフランス近代絵画との関連をめぐって」	2010. 10	『三岸節子展 色彩のエスプリ』（展覧会図録）	
講演会「三岸節子の初期の画業とフランス近代絵画との関連をめぐって」	2010. 10. 30	一宮市三岸節子記念美術館	
科学研究費「17世紀フランスにおける歴史画と挿絵本の関係についての総合的研究」（研究代表者：木村三郎）の研究分担者			2011年1月にパリ、ロンドンで調査を行った。
平成21-22年度本学研究助成「ブッサンの物語画の意味構造に関する研究と出版」			今年度の成果を研究紀要にまとめ、さらなる出版の礎とした。
平成22年度鹿島美術財団研究助成「ブッサンの英雄的風景画に関する総合的研究」			

## 2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

f 教育内容・方法の工夫および作成した教材・資料等	g その他教育活動上特筆すべき事項
---------------------------	-------------------

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業の運営に授業支援ブログを積極的に活用した (<a href="http://blog.livedoor.jp/etintokushigeego/">http://blog.livedoor.jp/etintokushigeego/</a>)</li> <li>・「美術史研修」を山田耕二教授と担当して、奈良、京都の研修旅行を実施した。</li> <li>・第1回の「海外美術研修」を実施し、パリにて授業を行った。</li> <li>・アートクリエイターコースのチュートリアル、コーチングのスタッフに参加した。</li> <li>・加藤邸アートプロジェクトの運営に参加した。</li> <li>・あいちトリエンナレーレ 2010 に関連して本学西キャンパス体育館で行われた蔡国強の現場制作の運営に加わった。</li> <li>・一日芸大生講師としてシニア向けに「一日でわかる印象派」を担当した。</li> <li>・博物館実習巡回訪問を多数担当した。</li> </ul>
--	--

### 3. 学会等および社会における主な活動

h 学会等の名称	i 活動期間	j 活動概要その他
美術史学会会員		
日仏美術学会会員		
岡崎市美術品等収集委員会委員		
文化庁「美術館・歴史博物館活動基盤整備支援事業」協力者会議委員		
静岡県立美術館資料評価委員会専門評価員		
『美術史』（美術史学会学会誌）169号査読委員		
名古屋芸術大学生涯学習講座講師		